

コラム 「今日を生きる」

明照学園理事長

野口 秀樹



大自然が躍動し喜び溢れる緑の季節、樹徳の大樹も若葉が音を立てて伸びています。五月にある学校行事の緑蔭祭、先人達に対する感謝の思いを形にする時、大事に過ごしてまいります。

私が樹徳のホームページにコラムを書き始めたのが平成二十年十月二十二日、今年十一月目に入りました。三日坊主の私が良い続けてこられたかなど感心しております。先日、今までのコラムに目を通して見たのですが、時間のかかること、途中で嫌になってしまいました。二千五百日以上は書いていたのです。はじめた理由を、一年目の平成二十一年十月二

十二日に書いておりますのでコラムからご紹介します。

「お陰様でこのコラムを始めてから一年を迎えました。何か、とても嬉しい思いであります。

今日は高等学校の合唱コンクールですが、昨年の今日は中学生の合唱コンクールであったの思い出します。

このコラムを始めたのは、ホームページが開設されていても更新するものが少ないのではもったいないと考えたからであります。

そこで私に出来ること、学校の毎日を伝えることでありました。

あまり私見を出さないように心がけたつもりであります。私の強い私のこと、至る所に出てしまっているようです。

カウントして見ると一年間で二百五十八日書き続けることが出来ました。これからも続けてまいります。

目を通してくださる皆様ありがとうございます。

た。」

次は平成二十三年十月二十二日

「お陰様でこのコラムも四年目を迎えました。

学校に出勤した時に限って書くこととしましたが、不思議ですね、始めると出張していても書きたくなる。出先のファックスを借りて送ったり、私のスタッフが文章を飛ばす機械を用意してくれたり、随分関係者には迷惑をかけました。

それにしてもこれを担当している先生には本当にお世話になりました。ありがとうございます。

(私の打った文章を編集してホームページに載せる係、それでも誤字脱字が多い。当時は私が直接掲載できないシステムだったのです)

どなた様かご覧いただけなのが私の励みとなりました。

皆様ありがとうございます。また一年勤めてまいります。」

この頃は書くのが楽し

くなっていたのだと思います。パソコンの知識がなかったので、係の先生がホームページに載せてくれていました。またこんなことを書いたこともしました。

「昨日、私のコラムの読者(この表現でよいのか?)から毎日書くのは大変ですね。と言葉をかけていただきました。ご覧いただけることは私にとって喜びであります。

続けていると自分自身のいろいろな変化に気が付きます。

毎日、ネタ(表現が美しくなく申し訳ございません)探しをしている自分に気が付きます。大袈裟に感じるかと思いますが、体じゅうから触覚を張り巡らしている。ものを見つめる。観察する様になります。人の話をよく聞くようになりました。

場合によると取材ではありませんが、『それを詳しく聞かせてください』とメモを取る。そういう意味で、いつもネタを探

している。それに私の文章の癖にも気が付きましたし、考えていることを短時間で文字にする感覚が身に付きました。

どんなことでも継続していると、そこに宝物が潜んでいることが理解できるとなりました。」

このコラムは私にとってメリットばかりであります。タイトルの「今日を生きる」。これは自分への戒めです。過ぎ去った時間を何時までも悔やまない。来ない未来を心配しない。毎日毎日を絶対に喜んで懸命に生きる。こんな願いであります。つたない内容ですがこれからも書き続けてまいります。

合掌



「与えるもの」が 「受け取るもの」

「五月」に感謝

新学期が始まって、一ヶ月が経とうとしています。二、三年生諸君はもうすでに普段の生活を取り戻し、一年生の諸君も、徐々に学校にも慣れ、生活のリズムが確立されつつあることと思います。まだまだ行事等も多く、学習もハイレベルになって、戸惑っている面が多々あるとは思いますが、ぜひ、頑張ってもらいたいものです。五月病などという言葉もありますが、そんなものに負けてはいけません。

さて、五月。「さつき」という異名を持ちます。「五月」のままで「さつき」とも読み、また「臯月」の字も用います。「梅雨の晴れ間は五月晴れ」と言われ、旧暦では五月が梅雨時であったことがわかります。「さつき」は、作物を作

る意味の古語である「さ(作)」から、稲作の月としての「さつき」となった、ということのようです。「早苗(さなえ)」を植える月「さなえつき」が詰まって「さつき」になったという説もあります。「早苗」の「早(さ)」には、先の「さ(作)」の意味が重なり、そこに「臯」の字に「神に捧げる稲」という意味があることから、「臯」の字が当てられ、「臯月」として一般化したのでしよう。

この「神に捧げる」というニュアンスが、個人的に好きです。昔の人々が豊作を願いつつ、自然を畏れ、敬う気持ちが、よく表れているからです。人は決して万物の頂点などではなく、自然界のあらゆるものの恩恵を受けてこそ、生きていられる、という考え方。「もの」を大切に作る気持ちは、ここから来るものだと思う

のです。そして、感謝の心や謙虚さが生まれるのではないのでしょうか。

月の異名から、意外な発見につながりました。先人たちが、様々な言葉の中に、生きるうえでの大切なものを散りばめてくれていたのかな、と、改めて、「感謝の心」をもって、この五月を過ごしたいと思えました。

(編集子)

本気でかかわる

「自分を生かす道を学校の中で自分なりに探していかないとね。逃げてばかりではいけないよ。」

ある日の相談室、三年生が一年生の子にアドバイスをしています。もう一時間半近い。一つ一つの意見を受け止め、考え方を伝えたり、自分が大変だったことをどう乗り越えてきたかを、「あなたの気持ちはわかるよ」と言いながら丁寧に話しています。「高校に入学して苦境に立ち、悩み抜いた末、自分のために生きなければと気づいた。そのとき目の前に道が開けた。今、この学校にいて良

かったとつくづく思える。」机で仕事をしながら聞いていて、心も耳もその話に釘付けになりました。その一年生のことを真剣に思っ

て話す姿に崇高ささえ感じます。表面では何でもない振りをしていても、親の見えない所で、教師の知らない所で、自分で自分をここまで引っぱり張ってきた。その子の苦しみと、達成した力強さがひしひしと伝わってきました。「中学時代、何かと反発してきたが、今、親の気持ちもわかる。親が大事だから迷惑をかけたくない。先生の話をかけた友達との関わりが、今、自分を生かしている。」初めて出

会った後輩に、ありのままの自分を出し、何かしてあげようという情熱を感じ、こちらの胸も熱くなりました。

子供の成長する力は素晴らしいものがあります。誰もが良くならないと心に

思っています。親として私たちは「言ってもわからない」と避けてしまったり、親の権力を間違えて表現したりします。

子供は、自分のありのままをぶつけて受け止めてくれる人を探しています。親・教師・社会の大人が、真正面からその子供を思うエネルギーを与えた時、自分の存在価値を高め、自分の進む道を自分で見つけます。私たちは、「本気でかかわる大人」として、子供たちの傍らで、共に歩んでいきたいものです。

(カウンセラー室)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」5月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 10・17・24日(木)
- (2) 七章ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 17日(木)
- (3) 販売実習 19・20日(土・日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③東北・熊本復興支援商品(缶詰等)

新入生の皆様

ご入学おめでとうございます

第一学年 学年目標

○『望ましい生活習慣の確立と、人間関係の形成』
○『学力の向上と、学習習慣の定着』

第一学年主任

古澤 孝



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いま、皆さんは高校生になった喜び、新たな環境への不安、様々な思いの中で高校生活を始めたことと思いませんか。私たちも新しい出会いにワクワクする反面、大変責任を感じています。三年間という限られた時間の中で、最大限私達にできることを工夫し、できるだけ質の高い教育環境を提供できるように、全力で取り組んでいくことを約束いたします。

さて、新入生の皆さんはこの樹徳高校での生活で、集団生活を通して、社会人としての基礎を身につけてはなりません。そこで、主に次の三つのことを意識して生活を送ってほしいと思います。

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、自己管理ができるようにすること。
 - ② 他者を尊重し、心身ともに安心できる場所を協力してつくること。
 - ③ 学習活動や部活動に積極的に取り組み、三年後の進路に向けた準備をするこ
- と。
- 高校生活の三年間とは、一人一人が自分の意志で将来の「夢」を描き、自らの力ですすんでいくものだと考えます。私たちは、その夢の実現のためのアシスタ

ントとして皆さんを全力でサポートします。

私たちは、いま、入学した皆さんが卒業するとき、誰もが最後には「樹徳」で本当によかったと思いがたいと、学年一同思っています。保護者の皆様には、お子さんのことで何か心配な点や疑問がある場合は、学校、学年の教員に遠慮なくご相談ください。ご家庭と学校とがタッグを組んで、同じ方向性で子ども達を支えていくことが、とても大切だと考えています。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い、よろしくお願ひ申し上げます。

第一学年副主任

狩野 剛



歴史と伝統を誇る樹徳高等学校の生徒として入学した君たちを、心より歓迎します。

早速ですが、学校に慣れた今、皆さんの将来を左右するであろう、大切な事柄についてお話ししてお

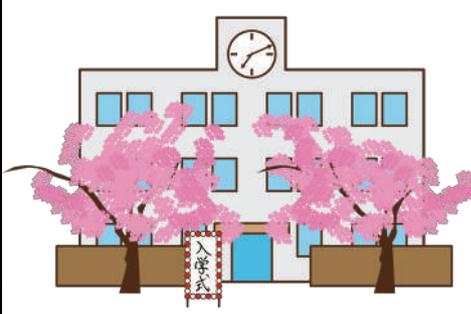
きます。

「慣れ」には有益な慣れと有害な慣れの二つがあり、「難しい仕事に慣れる」「苦しみに慣れる」などは有益な慣れです。有益な慣れは人間力を向上させますが、「幸せに慣れ、それが当たり前になる」「生活に慣れ、気持ちの弛む」などは有害な慣れです。「九つ功を一箇に虧く」ような残念な事態は、当初の意気込みや緊張感を失うことから生じるのです。皆さんが前向きな姿勢を堅持し続けられれば、次に記した、本校における二つの指導目標は、君たちの希望実現への歩みを、確実に支えてくれるはずで

- 一、学力の充実
- 一、真摯な生活態度の確立

心的な人物で、不本意な結果の原因を、他者にするばかりでした。ですから皆さんには、生活の在り方に関する指導に素直に従ってほしいと切に願っています。

皆さんが、気持ちを引き締め直して高校生活に臨めば、三年後には、私も、大きな喜びを分けていただけにちがいないと思います。



第1学年担任紹介

コース	クラス	担任・副担任
総合	J1	井達誠・榊澤美沙登
	J2	大石絢菜・小野澄一郎
	J3	岩上和貴・松永貴史
	J4	小林弥生・〔副主任〕 狩野剛
	J5	下山裕大・柴田千枝子
	J6	星野寿博
特進	SS	山崎寛
特進	K1	丹羽良之・〔主任〕 古澤孝
特進	K2	渡邊信雄・村上瑠菜
進学	S	馬込祥貴・内田富明
一貫校	4-1	〔主任〕 進藤友宏・黒沢大地
	4-2	家住誠

樹徳高校に入学して

桜満開の入学式から早一ヶ月。新樹徳生となった新入生の二人に、入学後の感想と今後の抱負を語ってもらいました。

『私の決意』

一年SS組 新井 明澄
(桐生黒保根中出身)



私の中のSS組のイメージは、勉強しかしてない暗いガリ勉集団、というものでした。私はそのような環境の中で上手くやっていけるのか、不安を抱えながらの入学となりました。しかし、いざ入学してみると皆明るく、楽しい事に溢れており、私の勝手なイメージは払拭されました。今は毎日が楽しく、クラスの学習意欲も高いので、とても充実した日々を送れています。

樹徳高校は設備が充実

私の中で、先生方の指導も熱いので、目標や夢が決まっている人にとっては最高の学校だと私は思います。私は最難関国公立大学医学部医学科を目標にして、日々学習に真剣に取り組んでいます。そのために日々、達成すべき到達目標を定めて学習を進めるようにしています。自らに日々のハードルを課すことで、学習意欲を向上させ、黙々と進めていくことができます。

ただ、医学部医学科のようないざ高い目標の場合、努力する前に諦めてしまうことが多いと聞きます。確かにそれを達成することは極めて困難であり、合格できる確率はたいへん低いかもしれません。しかし、私はその低い確率の中でも、諦めずに目標に向かって愚直に努力を続けていける人が成功するのだ、と思っています。



す。よって自らの目標を下げず、目標を達成できるまで諦めずに頑張りたいと思います。

私は学習面だけでなく多面的な活動にも積極的に参加していきたいと思っています。ただ、何事も積極的に攻め続けければ、失敗することもあるでしょう。しかし、その失敗という二文字を恐れず、果敢に挑戦し、失敗から謙虚に学ぶことで同様の失敗を極限まで減らしていくことができるはずです。そのような私自身になれるよう、これから行動していきたいと思っています。そして、目標である医学部医学科合格に少しづつ近づいていきたいと思っています。

『私の決意』

一年SS組 恩田 茉洗
(群大附属中出身)



私には大きな夢があります。それは「医師」になることです。その夢を実現するための第一歩として私は四月七日、樹徳高校に入学しました。

入学式では、樹徳高校ならではの厳粛な儀式もあり、樹徳高校が始まる、これからの高校生活への期待で胸がふくらみました。しかし、私の心の中は、樹徳

高校に入学することができ嬉しさや、これから始まる高校生活への期待ばかりではなく、不安もありました。むしろ、不安の方が大きかったように思います。

しかし、授業が始まって三日ほど

経った現在、ほとんどの不安は解消されたように思います。もちろん、高校の授業は中学校の授業とは比べものにならないくらい難しくなることや、スピードが速いことに対しての不安はまだあります。しかし、それは自分の努力次第でどうにでもなることです。どんな時でも努力を惜しまず、勉強に取り組んでいきたいと思っています。

私が不安を解消できたきっかけの一つに、「先輩」の存在も大きくあります。部活動の見学に行った際、部活動の選び方などについてアドバイスを下さいました。それだけでなく、休み時間などには好きな事について一緒に話して下さったり、とても優しい先輩方の存在が、大きな安心感につながっています。

私はまだ入学して間もないですが、本当に樹徳高校に入学できてよかったと思っています。三年後、将来の夢の実現に近づけているように、この樹徳高校に入学できたことに感謝しながら、日々を過ごしていきたいと思っています。

一貫校 中学校 だより

◆入学式

四月七日(土)、十八期生四十三名が入学式を迎えました。生徒達が今後どのような活躍をするか楽しみです。

【歓迎の言葉】

三年一組 新藤奏音

第十八期生の皆さん、ご入学おめでとうございませす。心よりお祝い申し上げます。仏教の教えに基づき「明るく、正しく、仲良く」を実践する樹徳中学校に、元気な四十三名の新しい仲間を迎えることができ、僕達はともうれしく思います。

さて、みなさんは今、どのような気持ちですか。新しい学校生活を迎え、友達や勉強のことなど、期待と不安でいっぱいなのではないでしょうか。二年前の僕がまさにそうでした。しかし、心配することはありません。皆さんの周りには、

同じ気持ちでいる友達がたくさんいます。そして皆さんの入学を歓迎してくれる僕達や先生方がいます。わからないことや困ったこと、悩み事などがあつたら、一人で抱え込まずに、先生方や僕達に、何でも聞いて下さい。親身になって相談に乗ります。また、樹徳中学校には、他の学校にはない様々な行事があります。一年生の梅田山荘合宿、一、二年生合同の高原学校やスキー教室、クラス対抗の球技大会や合唱コンクール、



そして体育祭や文化祭など、とても楽しい行事が目白押しです。皆さんも楽しみにして下さい。樹徳中学校は今年で創立十八年目。昨年度は十二期生が樹徳の誇りを胸に巣立っていかれました。十二期生は率先してボランティア活動に励み、難関医学部への入学を始めとした進路実現を見事に果たしたとても素晴らしい先輩方でした。十二期生に限らず、樹徳中学校には尊敬できる卒業生が大勢いらっしゃいます。そして、僕達在校生もその後に続くとうと頑張っています。皆さんも早く学校に慣れ、勉強や部活動に全力投球して、充実した生活を送って下さい。そして、共に良い伝統、校風を築き上げていきましょう。

◆中学校生活の抱負

- ・ 予習復習をしっかりする。阿部理瑛
- ・ 樹徳中学校に早く慣れる。小川知浩
- ・ 友達を作り協力できるようにする。坂井俐玖
- ・ 一日三時間以上勉強する。城田汰輝
- ・ 忘れ物をせず授業をちゃんと聞く。鈴木優生

- ・ 何事にも全力をつくす。関根唯眞
- ・ 文武両道。友達と仲良くする。古澤武竜
- ・ 毎日二、三時間勉強。山田凌平
- ・ 遅刻しない。山田凌平
- ・ 提出期限を守る。英検四級合格。山本貴裕
- ・ 予習復習。部活と勉強の両立。阿由葉桜子
- ・ 医師になるため毎日勉強する。尾之内菜々子
- ・ たくさん勉強して医学部を目指す。恩田実和
- ・ バレエがもつと上手になりたい。亀山涼
- ・ 医師になるために一人一倍努力する。北原智香
- ・ 医者になるために勉強する。斎藤愛里
- ・ みんなと仲良くする。高橋舞
- ・ 当たり前前事を当たり前にする。瀧本真子
- ・ 看護師になれるように勉強する。田島繭
- ・ 人間関係を大切にしている。土屋美月
- ・ 友達をいっぱいつくりたい。廣瀬まな佳
- ・ たくさんの友だちを作りたい。山崎萌々菜
- ・ 趣味と勉強とを両立させる。渡邊優音
- ・ 皆勤目指して家庭学習を毎日行う。大塚悠真
- ・ 感謝されるような医師になる。川田祥太

- ・ 何事にもめげないで続ける。定方優羽真
- ・ 小学校のころのリベンジがしたい。関智行
- ・ 自分で考えて、実行をする。高木柊汰
- ・ 国語を少しでも得意にする。堂端優真
- ・ クラスのみならず仲良くなる。戸田和志
- ・ 誰にでもしっかり挨拶をする。半田優悟
- ・ 授業中に先生の話をしっかり聞く。森坂英太
- ・ 何事にも一生懸命取り組む。朝日遥加
- ・ 部活と勉強の両立。阿部ナオ
- ・ 様々な事にチャレンジしたい。安齊里桜子
- ・ 一日最低一時間半は勉強する。石原珠希
- ・ 中学校の基本を身に付けたい。佐藤璃乃
- ・ 自立する。仲良く笑い合う。山洞満理奈
- ・ 先入観を持たずチャレンジする。三羽凜果
- ・ 人の気持ちを考えながら行動する。関口凜
- ・ 提出物を忘れない。高柳沙彩
- ・ 誰でも仲良くできる人になりたい。田中彩
- ・ 積極的な姿勢をとる。森下美羽
- ・ 友だちと仲良くする。吉田陽乃花

幼稚園だより

「健やかに
たくましく！」

新しい芽がもえ、若葉と
なるこの時期は、心伸びや
かにワクワクしますが、新
年度が始まって早一ヶ月。
新入園児も園生活のリズム
に大分慣れ、表情に笑顔や
余裕が出てきました。四月
の不安そうな表情が、今は
ニコニコ顔に変わり、保育
者の声かけにも、一生懸命
耳を傾ける様子が見られま
す。ひと月足らずの間に大
きな成長ぶりを見せてくれ



元気に泳げ、こいのぼり

「子どもの心に
応じる」
四月の始業式でタケノコ
の話をしました。「タケノ
コはまだ小さいけれど、
あつという間にみんなより
大きくなるんだよ！二ヶ月
もするとみんなの二倍も三
倍も大きくなるんだ。この
タケノコに負けないように
大きく成長してほしい」と、
この話しを子どもたち
はしっかりと覚えていて「園
長先生、タケノコは大き
くなった？ぼくよりも大き

ている子どもたちです。し
かし、成長は一步一步、あ
せらずに一人ひとりの子ど
もに笑顔で応え、見守って
いきたいと思えます。
園のこいのぼりも、元氣
に大空を泳ぎ出しました。
滝を登る鯉のように、子ど
もたちが健やかにたくまし
く育つように、しっかりと支
援していきたいと思えます。



30年度母の会総会（新役員の紹介）

くなくなったかな？桑原先生の
家の庭に、タケノコが三本
も出て大きくなったつ
て・・・見に行きたい
よ！」と年中さん。この期
待に応えなければと、園の
近くの竹藪で、タケノコを
さがしましたが、見つかり
ませんでした。子どもたち
の心に触れ、心の動きに
応じること、日々子どもたち
から学び、その可能性を信
じ、子どもたちと感嘆詞あ
ふれる園生活を作っていく
ことの大切さを強く感じて
います。グングン成長する
タケノコを是非見せてあげ
たい、そして、子どもたち
の心に響く話しをこれから
もたくさんしていきたいと思
います。

「母の会総会」 「伝統を大切に！」

四月二十日（金）に「母
の会総会」が開催され、新
役員（本部・幼交連）や、
活動計画が承認され、三十
年度がスタートしました。
役員さんをはじめ会員の皆
様と、本園の素晴らしい特
色と伝統を大切にしながら、
しっかりと連携していき
たいと思っています。さら
に、保護者との信頼関係を
深め、保護者も子どもも育
ち合う園づくりに向けて、
園と保護者の共同による育
ち合うコミュニケーションを大
切に、子どもたちのために頑
張っていききたいと思いま
す。ご支援・ご協力よろし
くお願いいたします。

「変化を
子どものために」
四月から認定こども園と
してスタートしましたが、
職員のローテーション勤務
や、土曜日の勤務（開園）等、
大きな変化にとまどいもあ
りました。しかし、五月に
入って、そのよさも見えて
きました。先生方の勤務時

間の短縮や振替で、リフ
レッシュできるようにな
り、保育に集中して取り組
めるようになりました。ま
た、振替によって、クラス
を見る先生が増え、一人ひ
とりを多くの目で見られる
など、一人では気づかない
点も発見でき、大きなプラ
スになっています。このよ
うに、変化を前向きに捉
え、子どもたちのよりよい
教育・保育につなげていき
たいと思っています。
保護者の皆様のご支
援、よろしくお願いいたし
ます。
園長 瀬谷 茂

入園児募集

○満二才から入園できます
(満二才前でも相談に応じ
ます)。
・満二才児 十五名
・満三才児 十五名
・三才児 十五名
・四才児 若干名
・五才児 若干名

入園は随時受け付けてあり
ます。入園を希望される場合
は、樹徳幼稚園まで連絡くだ
さい。

〇二七七一五三一五五〇一
http://www.jufoku.ed.jp

/Kinder

5月(正思)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	火	学校要覧・基本調査作成基準日 生徒募集要項作成開始		ダンス(全)
2	水	後援会総会準備会 内科検診③ 校外学習(遠足)下見2年① 授業料納入日		保育料納入日
3	木		憲法記念日	
4	金		みどりの日	
5	土		こどもの日	
6	日			
7	月	朝礼 県総体壮行会 夏服引き渡し 校外学習下見2年② 学年主任会①		年少・個人面談(~11日) ダンス(全)
8	火	職員血液検査 県校長会	宿泊オリエンテーション(~9日 中1)	花祭り(大善寺)
9	水	マイトリ基金記念日 検尿② 校外学習下見2年③ 私学校長会(~10日)		内科検診 英語(全)・文字(年長)
10	木	薬物乱用防止講演会 歯科検診② 校外学習下見2年④		体育(全)・文字(年中)
11	金	県高校総合体育大会(~13日)	新体力テスト 市街地清掃	群私幼定時総会
12	土		中高一貫校見学会① 親子茶道教室(中1) AED講習会(中2) 海外語学研修説明会(中3)	開園日(2・3号認定子ども)
13	日			
14	月	LHR(心理適性検査) 教科主任会②		年中・個人面談(~18日) 教生受入(~6/1) ダンス(全)
15	火	県高P連本部役員会 中高連理事会 校外学習下見3年		
16	水	後援会総会 授業参観 検尿①(5/16未提出者)		お茶のお稽古①(年長) 英語(全)・文字(年長)
17	木	歯科検診③ 高校総体陸上(~20日)		体育(全)・文字(年中)
18	金	検尿(予備日)		歯科検診 母の会歓迎会
19	土	樹妙会総会 1・2年ベネッセ実力診断(課外受講者) 3年学研VSP・P①		開園日(2・3号認定子ども)
20	日			
21	月	LHR・運営委員会①		年長・個人面談(~25日) 虫歯予防教室(年長) ダンス(全)
22	火	緑蔭祭会場作成	早朝自主学习(~29日)	
23	水	第35回緑蔭祭・記念講演 二代目校長ご命日(40回忌)	第35回緑蔭祭・記念講演	第35回緑蔭祭(年長代表) 英語(全)・文字(年長)
24	木	私学振興会運営理事会		体育(全)・文字(年中)
25	金	校外学習下見1年		お誕生会(4・5月生)
26	土			開園日(2・3号認定子ども)
27	日	全経簿記検定①		
28	月	中間試験(~30日) 職員研修(ベネッセ基礎力診断分析)		教生受入(~6/8) ダンス(全)
29	火	初代校長ご命日(69回忌) 職員内科検診 第1回法人役員会(15:00~) 中高生徒指導対策協議会総会	中間試験(~30日) 安全教室	新採用研修会③ 法人役員会
30	水	制服アフターサービス 3年就職ガイダンス① 県私学保護者連合会総会(ラシーネ)	避難訓練	英語(全)・文字(年長)
31	木	校外学習 出欠統計 前期教育実習生オリエンテーション		群私幼PTA総会(会長・副会長) 体育(全)・文字(年中)

※1日は高等学校・一貫校・幼稚園の安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく